

抜き打ち調査実施報告書

法人名	社会福祉法人「愛生福祉会」
施設名	特別養護老人ホーム 豊寿園
実施日時	開始 2017年 11月 7日 (火) 0時 19分 終了 2017年 11月 7日 (火) 8時 30分
評価者名	本間郁子 是枝祥子 (2名)

※結果 (運営基準の順守)

抜き打ち調査の職員の対応	0:19にインターフォンを3回押すと宿直の職員が出てきてスムーズに対応してくれた。抜き打ち調査実施書を見せ了解を得て施設に入る。荷物を置く場所として会議室を使わせていただき、すぐに、調査を開始した。
--------------	---

夜勤者数	従来型3ユニット、ショートステイ1ユニット)、 個室・ユニット型施設4ユニット 合計:定員90名+ショート10名で、夜勤者合計6名 (ショートステイ1名の夜勤者含む) (運営基準は6名。重要事項説明書通り)
拘束の有無	全居室(ショートステイは4人の居室のみ確認、6人は不穏、神経質でドアを開けないでほしいと夜勤者の意向で入室せず)を確認した結果、拘束は無し。
プライバシーの確保	居室はすべてドアが閉まっていた(1名は開いていたが長いカーテンが掛けてありプライバシーは守られていた)。全居室プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
不適切な対応	無し。夜間、ほとんどの方が安心して休まれている様子を伺うことができた。深夜過ぎても寝付けない人に飲み物を出したり、耳元で優しい声をかけたりして、寝ることを強制するようなことはなかった。利用者の状況に合わせ温かい見守りで過せる場面を確認でき、不適切な状況は、全く見受けられなかった。照明や換気も適切で、夜間らしい雰囲気であつた。

【特記】

- ・豊寿園にとって初めての抜き打ち調査となった。インターフォンを3回鳴らすと警備員が出てきて対応した。「Uビジョン研究所の評価者で、抜き打ち調査にきました」「玄関横から入ってください」と返答があった。玄関で、「これからどうすればいいでしょうか」と聞かれたので、「何もしなくても良いので、お休みになってください」と説明した。会議室を開けていただき荷物を置かせてもらい、すぐに調査を開始した。「実施書」は本館の職員に手渡した。
- ・夜勤者6名に「愛生福社会」の理念、基本方針を尋ねると5名が明確に答えることができた。
- ・拘束ゼロ、臭いもなし、コールは適切な場所にきちんと置かれ、疑いのある不適切ケアは一切見る・感じるなどなかった。
- ・夜勤体制は定員90名（従来型50名、4ユニット）、ショート10名（1ユニット）で夜勤者合計6名（ショーツステイ1名の夜勤者含む）配置しており、コンプライアンスは守られていた。
- ・全体的に、コールがある場合、職員は居室に入るときにノックしてからドアを開けるなど徹底してプライバシーを守っていた。排泄介助の場合は、静かにドアを開けて入っていた。いずれも言葉使いは丁寧でやさしさが感じられた。
- ・トイレのオムツの置き方は、ボックスに入れているところと剥き出しで置かれているところ、カーテンで見えないようにしているところがあった。
- ・ユニットの入り口やグループの仕切りは季節感があり、それぞれ工夫が見られ温かい雰囲気を感じられたと同時に利用者に心地よく過ごしていただきたいと気遣う気持ちが伝わってきた。
- ・建物の外の玄関横の給水塔は木で上品に囲い、鉢をかけ、施設を訪ねて来る人や道を通る人にとって、季節感や環境の豊かさを楽しむことができる雰囲気「最高のおもてなし」を感じることができる。

【評価者コメント】

・利用者の居室、ケアの状況、施設全体を夜間から翌朝にかけて観察や聞き取りをした結果、人権が守られ、誠意あるケアができていることを評価者として安心するとともに感動した。

・深夜のトイレ誘導や見守りにも、その人のプライドを守った支援ができていた。また、居室での排泄介助の際の会話も優しく、言葉使いも丁寧で利用者も穏やかな声で会話をしていた。さらに、評価者が「利用者一人一人の居室を確認するので、不穏な人や物音で起きてしまう人はいませんか」という問いに対して、若い男性の介護職員は、「どこでも確認してもらった方がいいです。何かあったら、私に対応しますから」と笑顔で答えたのには、感動すると同時に利用者を守る介護職員としての使命感と豊寿園の職員としての責務を果たす姿勢が伺われた。

・新館ユニットの居室トイレの中にある棚はカーテンが長く、オムツ類など置いてもプライバシーが守られる配慮があった。ユニットによっても異なるが他のユニットの参考になる取り組みがあった。

・施設全体に無駄な電気はついておらず、間接照明やスタンドランプを上手に活用して雰囲気も温かく感じられた。

・本館は落ち着いた雰囲気があり、新館もその家らしさが感じられる雰囲気ができていて、居心地の良さを感じることができた。

・職員はきちんと挨拶ができていた。

・ユニットの入り口を音を立てないように気を使いそっと開けると同時に夜勤者が、「いつもと違う気配がしたので」と静かに近づいてきた。四方八方に気を配りながら夜勤業務をしていることが伺えた。夜勤は日勤とは違う緊張感と責任があることを感じた。

・建物の内外はクリスマスの装いがあり、クリスマスを待ち遠しく楽しく待つ雰囲気に溢れていた。

・ 認証審査で、玄関入り口に設置された受水槽がステンレスで無機質な感じが
あり温かさやおもてなしを感じさせないと指摘されていたが、今回は木の壁で
囲み、その周りは草花が植えられて、豊かな生活環境を整えていた。
審査からさらに改善に取り組まれていることが確認できた。